

備前市事務事業評価表

事務事業名	市民ふるさとの森創造事業		コード	05-01-02-06
			担当課・係	企画課 企画振興係
			担当者	青木弘行
事業実施期間	平成18年度		電話	0869-64-1871
総合計画 事業(政策)体系	大項目(基本目標)	住民主体の協働のまちづくり		
	中項目(基本施策)	住民主体で進めるまちづくり		
	小項目(施策)	コミュニティ		

事業について	
目的 (何のために)	合併記念としてこの事業を実施し、新市の一体感の醸成を図る
対象 (誰・何を対象に)	市民ふるさとの森創造事業実行委員会及び備前市在住及び在勤者、各種団体等
内容	八塔寺ふるさと村のある吉永地域の山林に「市民ふるさとの森」を整備(あずまや、パーゴラ設置等)し、市の花「さつき」市の木「楷の木」や桜等の記念植樹を行った実行委員会に対し補助金を交付した。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
植樹参加者		約250人	
事業費 (単位:千円)	事業費 直接事業費 人件費 合計	財源 国庫補助金等 受益者負担 市債 一般財源等	事業費 直接事業費 人件費 合計
	0	0	0

必要人員	0人	0.60人	0人
結果指標	結果指標名 結果指標量 単位 対前年比	植樹参加者 約250 人 -	#VALUE!
結果指標	活動にかかるコスト 単位当たりコスト	17,761,000円 71,044円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	行政主導から市民との協働により事業を展開することにより、旧市町民の融和と交流を深めることができ、また、吉永地域の「みどり」を利活用することにより、八塔寺ふるさと村に新たな観光スポットを創造し、観光客の増加を目指す。		
成果指標名	植樹参加者	式又は説明	植栽面積等の問題もあり1,000人を限度とする
成果指標量	17年度	18年度	250
対前年比	-		0.00%
到達目標値		到達目標年度	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性 <input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等: <input type="checkbox"/>	妥当性評価<A~E> B 課題認識
対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	本事業は、単年度で終了するが、来年度以降、植樹の手入れ、下刈、堆肥等の維持・管理が必要となる。また、備前及び日生地域においても事業を実施すべきである。
市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	コストの効率化 <input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である 手段の最適化 <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	効率性評価<A~E> C 課題認識
有効性の評価	職場の効率化 <input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい 目的達成度 <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している 成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	有効性評価<A~E> B 課題認識
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	実行委員会を立ち上げたことにより、市民との協働により事業を展開することができた。

平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input checked="" type="checkbox"/> 事業を縮小している <input type="checkbox"/> 事業を廃止している	説明 平成18年度で廃止・完了
目標値	結果指標量	結果指標量

総合評価	市民との協働により事業が効率的に進み、また各地域間の交流を深めることができ、概ね満足の得られる事業であった。 来年度以降は、維持管理を行っていく必要があります。	評価区分 <A~E> B
------	---	--------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果